

このまちで暮らす
私たちが主役の Magazine

広報せいよ

Seiyo City Public Relations



MARCH2019
No.179

参加受付中

事前復興フォーラム

野村町で住民説明会

宿題終わったあ！
今から運動場であそぶよ！

ないなら創る。それが、

特集

たのすじスタイル

住民の約4割が、65歳以上。
でも、
次々と新しい人が
挑戦し続けている地区があります。
宇和町田之筋地区です。
「自分たちの手で、
自分たちが住みやすい村を創ろう」と
シニアたちが、活躍しています。

特集

たのすじスタイル

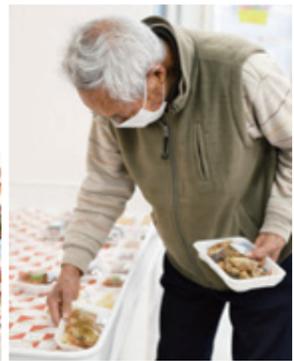
「たのすじ」は、田之筋地区のシニアたちが活躍の場。

Map

☆ わらイノシシ

喜ちゃんない屋

田之筋公民館
(宇和町新城 979番地)



地域で唯一の店舗 なくなるのは 困るけん 「やってみるか！」

食料や日用品を買うことができる
地域で唯一の店舗が、閉鎖!?
高齢者が多いこの地で、それは困る!
そのとき、地域の農家ら9人が
企業組合を立ち上げ、店舗の運営を始めました。

「地域で唯一、食料や生活雑貨
を買う店をなくしたらいけん」
平成23年。統廃合によりJAの
店舗がなくなる問題に直面したと
き、熱い思いをもった農家ら9人
が動きました。企業組合「喜楽た
のすじ」を立ち上げ、JAの元店
舗を含む旧支所施設を借り受けて

店舗の運営を担ったのです。店名
は「来てくださいや」を意味する
方言の「喜ちゃんない屋」です。

ここがあるけん、便利だよ

「地域内から店舗がなくなるこ
とは、お年寄りにとって大きな問
題です。そこで、有志で企業組合
を立ち上げて『喜ちゃんない屋』
を運営しています。最近足腰が
弱って買い物に出るのが困難な人
も多くなったので、買い物弱者対
策として店までの送迎も始めまし
た。『ここがあるけん、便利だよ!』
と言ってもらえるのがうれしいで
す」と理事長の大塚俊秋さん。

店舗は平日、毎日営業。注文を
受けて配達をしたり、店舗まで送
迎をしたりして、住民の生活を支
えています。

利用者の評判も上々。阿方照子
さん(81)は「前は自転車に乗っ
て買い物に行けよつたけど今は歩
いてよう行かんけん、送迎を利用
してここに来るんよ。何でもある
けん、ありがたいよ」とにっこり。
高齢者の日常を支えるのはもち
ろん、大塚さんたちは地域づくり



家庭の味で、地域を支える

田之筋地区有志のお母さんたち、その名も
「喜楽キッチン」の6人が、地元産野菜や米に
こだわった弁当を手作りしています。
メンバーは全員70代。野菜のほとんどは、
自分で育てたものを持ち寄っています。取れる
野菜に応じて、毎週メニューも変わります。
手作り弁当は、月曜日限定。「喜ちゃんない
屋」での販売のほか電話注文で宅配も行ってい
て、特に1人暮らしのお年寄りに好評です。

組織と共催して、毎年11月に「田
之筋秋の収穫祭」を開催。魅力的
なイベントを行うことで、地域活
性化にも努めています。
田之筋地区では、問題があれば
皆で考え、解決のために動きます。
より住みやすく、それが気概です。

地元食材にこだわった
安全でおいしい、家庭の味です!



喜楽たのすじ理事長



大塚 俊秋さん
= 宇和町伊崎 =

地域で「困る人」をなくしたい 今後は、存続させることが目標

企業組合「喜楽たのすじ」の発足まで、1年間かけて地域の意向を聞き
ました。地区民を対象に行ったアンケートでは、集まった7割が「買
い物できる場がないと困る」と回答。高齢者が多いこの地で、買い物で
きる場がなくなると困る人が多く出ます。そこで、農家有志で「やれる
だけやってみるか!」と「喜楽たのすじ」を立ち上げて7年。最初はに
ぎわっていた店舗も、利用者が年々減少して少し寂しくなりよります。
経営は大変な問題も多く、今が正念場。でも存続を目標に、がんばります。

若い人は 少ないけど 「何か」やれる 年寄りが多いんよ

何も無い田んぼの中
突如現れた、わらアート。
今年の干支ということもあって
休日には撮影に訪れる人の姿も見られます。
作ったのは、地域づくり組織
「田之筋地区地域づくり協議会」で活躍する
元気なシニアたちです。



「今日は都合で1人來れなかったけど、15人で力を合わせて制作しました。制作期間は約1カ月半。後ろに見えるのは『大伴山』です。春になったらレンゲも咲いて、キレイなですよ。来年は鼻をもっとかっこよくしたいと思っております」とメンバーの皆さん。わらいノシシは田植えまで設置予定とのこと。

あるのは「時間」と「やる気」

「時間とやる気のある年寄りらが、農作業後に集まって作りました。若い人は減りがありますが、『何か』やれる年寄りは多いんです」
田んぼに響く、明るい声。「わらいノシシ」を作った、62歳から80歳の14人です。
全員が地域づくり組織「田之筋地区地域づくり協議会」の一員。自分たちのことを「年寄り」と言うものの、地区では十分若手です。



ひっそりとライトアップ中

言動もまなざしも、活気にあふれています。

きっかけは、ふるさとへの思い

制作は、大竹忠盛^{ただもち}さんの「ふるさと」の原風景を守るために、地域づくり組織で『わらぐろ』を作れんやろうか」という発言から始まりました。

大竹さんの言葉に、皆「じゃあやろう！」と一致団結。「原風景を守りたい」や「わらアートで地域を元気にしたい」など、それぞれの胸の中に、ふるさとへの思いがありました。そして話し合いを重ねる中でわらいノシシが誕生。昨年からは制作を始めました。

「昨年はイノシシ1頭だけやったんやけど、今年から2頭の『子イノシシ』が加わったんよ。皆、作るのがだんだん上手になりよります。やけん、岩木の『わらマンモス』のように、うちの『わらいノシシ』も年々かっこよく、進化していくはずと話しよります」
制作に使った稲わらは30アール分。米どころだからこそできる、思いのこもったアートです。

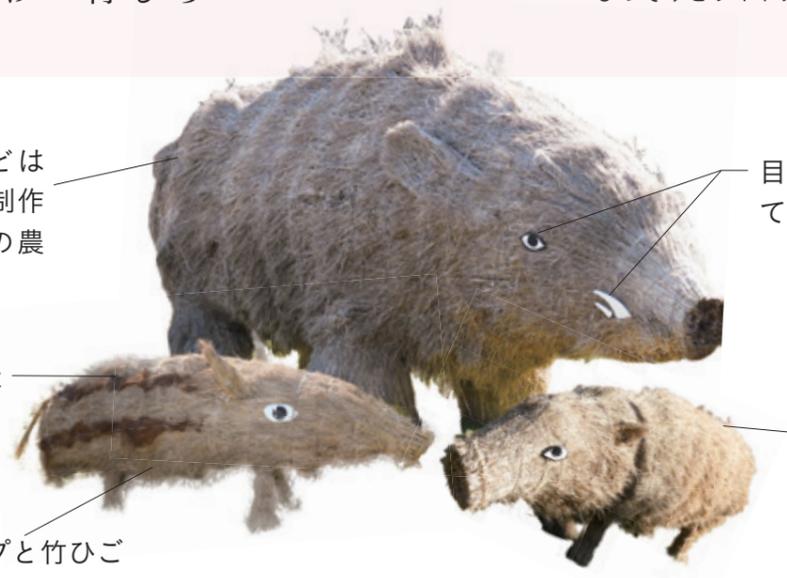
骨組みや作り方などは「わらマンモス」を制作している岩木地区の農家 井上勲さん直伝

ヤシ科のシュロの木を「ウリ坊」らしいシマシマに見立てて

骨組みは鉄パイプと竹ひご

目と牙は、木を削ってペンキで色付け

今年から2頭の「子イノシシ」が仲間入り



原風景を残したい 子どもたちにつなぎたい

かつては田んぼの至るところに、稲わらを高く積んだ「わらぐろ」がありました。でも年々消えつつあって、どうにかしたいと思いよりました。そこで、皆に「わらぐろを作ったらどうぞ？」と提案しました。話し合ううちに「この辺はイノシシの被害もある。『入りまんように』という願いを込めて、大きなわらいノシシを作ってはどうか」と盛り上がりました。子どもたちがこの風景を見て、感じることで、ふるさとへの美しい風景を次世代につなぐような大人に成長してくれたらうれしいです。

わらいノシシ発起人



大竹 忠盛さん
= 宇和町伊崎 =

地域の中で 子どもを見たい 「ないなら創る」が たのすじスタイル

田之筋には、児童館がない。
放課後、子どもを見られる場所もない。
だったら、地区内に作りたい！

平成30年4月、
田之筋地区は「放課後子ども教室」を開校しました。

「ねえおばちゃん、勉強教えて」
「おっちゃん見て、けん玉でき
たよ！」

放課後の田之筋小学校。図工室
に子どもたちが集まっています。
見守る大人は、学校の先生ではあ
りません。「おばちゃん」「おっちゃん」
と子どもたちから慕われる、

地域の大人たちです。

地域の中で、大きなあれ

「放課後子ども教室」は、「田之
筋地区地域づくり協議会」会長の
宮本純夫すみおさんが中心となって、昨
年4月に立ち上げました。

「地域から『田之筋の中で、放
課後に子どもを見る場所をつくつ
てほしい』という声を受けて『た
めになるなら、やらんわけにはい
かん』と。皆で話し合い、独学も
重ねてようやく開校にこぎつけま
した。子どもたちは全員孫のよう
で、本当にかわいいですよ」

対象は田之筋小学校の1年生か
ら6年生まで。現在30人が通って
います。2カ月に1度の頻度で、
けん玉教室や三味線体験など特色
ある体験活動を行い、地域で子ど
もたちを育てています。

若い人は少ないけれど「何かで
きる年寄り」が多い、田之筋地区。
そこには「ないなら創り出す」気
概に満ちた人が多く暮らしていま
す。だから、問題があればみんな
で考えて、みんなで解決する。そ
れが「たのすじスタイル」です。



田之筋地区地域づくり
協議会会長



宮本 純夫さん
= 宇和町明石 =

スタッフは子ども好きな60代と70代 やりがい、ありますよ

給食のある平日は毎日、午後2
時45分から6時まで「田之筋放
課後子ども教室」を開校していま
す。年間180日くらいでしょうか。
利用は、基本的に無料。ただし
申込登録が必要で、スポーツ安全
保険料として年間800円を保護
者からいただいています。

子どもたちはまず、1時間程度
宿題をします。宿題が終わった
ら、けん玉や運動場などで遊びま
す。みんな元気いっぱい。子ども
たちの顔を見て、私たちも元気を
もらっています。

スタッフは全員で16人です。

3人1組のシフト制で対応にあ
たっていて、みんな子どもが大好
きな60代と70代です。

「放課後子ども教室を開きたい
けれど、どうすればよいか分から
ない」という地区があれば、相談
にのれますよ。開設は難しくあり
ません。毎日の見守りは大変です
が、その分やりがいがありますよ。



CITY TOPICS

まちの話題をお届けします



黒松内町から中学生が訪問

黒松内町（北海道）から、中学生33人と引率8人の計41人が12月23日（日）に西予市を訪問しました。黒松内町と西予市は、平成5年の旧野村町時代から姉妹市町として交流を続けています。

今回は、平成30年7月豪雨により被災した現場を片付けるボランティア作業を行いました。黒松内町の中学生らは「被災の痕が残っていて復興には時間がかかる」と話していました。



世界一の大門松の下、ダンスフェスティバル

高さは20・19m。世界一の大門松がある野村町中筋地区で1月3日（木）、地域づくり組織により「中筋郷ダンスフェスティバル」が開催されました。ダンスフェスティバルには、市内外から老若男女15チーム123人が参加。最優秀賞に輝いたのは、内子町のチーム「FEVER」。賞金10万円は、衣装代や参加した子どもたちへのお年玉に使うと話していました。



のむら軽トラ市にSTU48

平成30年7月豪雨により被災した「乙亥の里」で、奇数月の第3土曜日に定期開催中の「のむら軽トラ市」が1月19日（土）に開かれ、約30店が軒を連ねました。今回の目玉は、宇和島水産高校

フィッシュガールによるマグロ解体と、瀬戸内を拠点に活動するアイドルグループ「STU48」のライブ。会場は活気にあふれ、多くの観客でにぎわいました。



山口県周南市でツルの交流学習

石城小学校の4・5年生の希望者16人が1月26日（土）27日（日）、山口県周南市八代小学校を訪問しました。同地区はツル猟が解禁された明治時代から、ずっとツルを大切に守ってきた地域です。

交流では互いのツルに関する活動報告や、八代と西予市の良いところを一緒に考えたりしました。今期はナベヅルが多数渡来している西予市。来期もたくさん来ることを、多くの人が願っています。



まちを明るく「のむらまちテラス」

乙亥の里で1月26日（土）から「のむらまちテラス」未来にあかりをくが始まりました。イルミネーション約3万球が、3月15日（金）まで点灯します。豪雨を受け、約6万個あった電

球は大半が流失。国営讃岐まんのう公園（香川県）から借りて実施にこぎつけました。26日の点灯式では野村小学校合唱部がオリジナル復興ソング「のむらのうた」を初披露しました。



よ! せい坊



えっ、なあに？まんまるころころしたほうがカワイイ？そーお？女子のきもちは、よく分からないなあ。でも、はげましてくれて、ありがとうだよ！おれにこんど、へんてこダンスをみせてあげるよ！！

MINI TOPICS

再度のお願い！ ツルを見かけたら近付かず、見守って

ツルは非常に警戒心が強く、人の接近を嫌います。見かけたら約300mの距離を保つようにしてください。300m以内でツルと出会ったら、車の場合はそのまま通り過ぎてください。ツルを見ようと止まったり、車内から出たりすると警戒して飛び去ることがあります。徒歩の場合は可能であれば迂回を、無理であれば急な動きはせずに通行してください。



復興 だより

復興や、支援の状況などをお伝えします。
問 復興支援課 ☎ 62-1455

野村町で復興座談会

■野村地区

日時 1月9日(水) 午後7時
場所 野村公民館 参加者 60人
復興・中筋・大和田・横林・
惣川・大野ヶ原地区

■野村地区の声

野村ダムの操作見直しや肱川水系の河川改修は必須。計画策定

などにあたっては、住民参加の方向も検討してほしい

被災者が住むところを速やかに確保するため、空き家の活用なども検討すべきでは

水路が被災して、田植えができない。それに対する支援策を検討してほしい

子どもたちも精神的なショックを受けている。そのことも理解して、復興に取り組んでほしい

行政はもっと被災者に寄り添うべき。住民の目線に立って誠心誠意進めていただきたい

野村地区の復興座談会では、被災者の声や意見、要望などを伺い、復興に向けた取り組みについて話し合いました。

タイから義援金



廃棄処分になる消防自動車などを、愛媛トヨタ自動車株式会社を通じて東南アジア諸国へ寄付する社会貢献活動を、当市は行っています。

愛媛トヨタ自動車株式会社 社長の 大城戸圭一さんが1月9日(水)に来市。市が寄付した消防自動車などが活躍しているタイのランバン県からの義援金7万2000円と、会社と関係者からの義援金13万2000円を宗副市長に手渡しました。

大城戸社長は「現地で義援金を取りまとめたロータリークラブが『車両は住民の命を救うために役立っている。今度は、こちらが西予市に恩返しをしたい』との思いとともに義援金を預かった」と話されていました。

被災者のほとんどが人災だという意識がある
ダム下流の流下能力に対するダム放流量は、1000t/sである。そのことを忘れずに対処すべきである
大規模な被害のあった三島町について、住宅再建に関する方向性が示されないため不安な状況にある。状況をできるだけ早く教えてほしい

■復興・中筋・大和田・横林・惣川・大野ヶ原地区の声

小さな河川については法定外公共物扱いとなり、補助対象外ということを言われている。そのあたりの対策をお願いしたい
農地に入るために利用していた橋が流れた。公共の橋でないため直せないとされているが、個人での対応は困難。対応を検討してほしい
まちの中心部や被害の大きいところに支援が集中し、端々の地域が後回しにならないような復興計画を作成してほしい

西予市復興まちづくり計画 策定委員会を開催

第2回西予市復興まちづくり計画策定委員会を1月23日(水)に開催。

平成30年7月豪雨による主な被災箇所を見て回った上で、復興まちづくり計画に反映すべき事項などを話し合いました。

日時 1月23日(水) 午後1時

会場 野村町商工会館

現地視察 俵津↓明間↓野村

主な内容

・西予市復興まちづくり計画(骨子案)について
・被災地現地確認における所見
・意見交換

■委員から出た意見

・現地を見て、野村の浸水被害状況についてよく理解できた。災害に関するいろいろな情報を一般市民にも広く分かりやすく提供してほしい
・土砂崩れが起きたところでは山との、野村では川との日常生活

での関係性を正常に戻す必要があると思う

一級河川以外の小さな河川対策も復興計画に盛り込んでほしい

今回の災害を教訓に、次なる災害にどう備えるかということも盛り込んだ計画にすべき

野村の浸水区域での現地住宅再建希望者の安全を守る手立てが必要。最低でも越水しない対策はどうすればよいかについて、

地元の合意を得ることが復興のスタートになるのでは

復興に関する考え方を決めるためにも、河川整備計画などを早急に決める必要がある

土砂災害は、保水力の少ない未整備森林に起因した表層雪崩的なものではないか。今後、集落に近いいわゆる「里山」の整備に努めれば被害は減少するのではないか

災害の歴史から学ぶことも大切。復興計画の中に防災教育の充実

を盛り込むべき

・せいよ東学校給食センターの被害の大きさに驚いた。現地での再建は心配である
・地元のことを一番よく知っている地元住民もかわった上での総合的な消防力の強化が必要。消防車両が侵入しやすい道路網の整備など、消防が機能しやすいまちづくりを目指してほしい

被災者の意思を尊重した復興方針であってほしい。経費面や安全面を考慮した上で、スピード感を持って取り組んでほしい

これから心配されている南海トラフ地震などの発生を考慮すると、大雨との複合災害も視野に入れる必要がある

「協働による計画推進」が復興のポイントだと感じる

■西予市復興まちづくり計画 公表は平成31年3月の予定

平成31年3月末の公表を目指して、地域別座談会や策定委員会での意見を踏まえた西予市復興まちづくり計画の策定を進めています。



川沿いを歩きながら、乙亥会館や三島地区、野村保育所の被災状況を確認



土砂崩落を対岸から確認



樹園地の被災状況を確認

繁木俊忠さん 愛媛マイスター に認定

建築大工の繁木俊忠さん（三瓶町）が愛媛マイスターに認定され、平成30年11月28日（水）に開催された平成30年度愛媛県職業能力開発促進大会で認定証を授与されました。愛媛マイスターは、愛媛県のものづくり産業などにおいて卓越した技能・技術を有し、優れた指導力がある人に対して授与されるものです。

キラリ西予大賞

全国トップの人・団体に

全国レベルの大会などで優勝またはそれに値する成績を収め、西予市の名声を高めた4人に平成30年12月26日（水）、キラリ西予大賞を授与しました。



(写真左から)
瀧松 海斗さん（広島県在住：三瓶町出身）
 日本GPシリーズ第15回田島直人記念陸上競技大会陸上競技800m準優勝
菊池 繁仁さん（東京都在住：野村町出身）
 全日本歯科学学生総合体育大会剣道男子個人2段以上の部優勝
亀島 小桃さん（三瓶町）
 第8回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 全国大会金賞
菊池 竜太さん（松山市在住：三瓶町出身）
 全国障害者スポーツ大会陸上競技ソフトボール投げ優勝

仕事始め式 災害業務を熊本市と振り返る

登壇。7月豪雨災害時の対応について振り返り、南海トラフ地震などの大規模災害に備えて意見交換を行いました。



「西予市仕事始め式」を1月4日（金）に宇和文化会館で開催。研修の一環として市職員約400人が7月豪雨時の災害業務を振り返りました。

第一部（熊本市の講演）
 西予市の対口支援団体である熊本市から災害マネジメント総括支援員などとして派遣された部長級職員3人が、熊本地震の概要や物資供給、廃棄物処理について講演しました。
第二部（パネルディスカッション）
 熊本市職員のほか、災害対策本部で各業務を担った西予市職員が

南海トラフ地震では、より多くの被害が想定されています。そこで、避難所集約の問題点や自助・共助での避難所運営の考え方のほか、相談総合窓口での情報共有のあり方や、防災証明書発行業務との関係課との連携などについて課題が出され、熊本市からのアドバースを受けました。
 パネラーとして登壇した福祉課担当者からは「甚大な被害を前に、今まで経験したことがない業務にあたるのは大変だったが、熊本市さんが常にサポートしてくださり心強かった。当手を振り返ることで、今後につなげたい」との感想がありました。
 発災から半年。市では今回の教訓を職員間で共有し、今後に生かしていきます。
 問 総務課 ☎62・6400

野村町で 検証等の場とりまとめ等の住民説明会



平成30年7月豪雨における「野村ダム・鹿野川ダムの操作に関する情報提供等に関する検証等の場」とりまとめ等の説明会を、1月22日（火）午後7時から野村

小学校体育館において開催。約160人が参加しました。今回は国土交通省、愛媛県、大洲市、西予市および愛媛大学などの有識者で構成する「野村ダム・鹿野川ダムの操作に関する情報提供等に関する検証等の場」において、7月豪雨による肱川流域の大洪水被害に関して関係機関での情報共有や情報提供、住民周知のあり方や効果的なダム操作について、4回にわたり検証ならびに考察を行ってきた結果を説明しました。同時に、今回の豪雨災害を踏まえた各機関の今後の対策や取り組みについても説明しました。

■今後の主な取り組み
 国土交通省野村ダム管理所
 ・サイレンやスピーカーなどの設備、サイレンの回数、アナウンス内容などの見直し
 ・利水団体との協議によるダムの事前放流の充実

愛媛県
 ・操作規則の変更
 ・ダム下流などの河床掘削
 ・洪水浸水想定区域図の作成
 ・放流情報のメール配信
西予市
 ・ダムの放流量の増加（300→400m³/s）に伴う避難勧告の発令
 ・異常洪水時防災操作の開始3時間前の通知を受けての避難指示の発令
 ・より切迫感のある防災行政無線による緊急放送内容への見直し
 ・洪水ハザードマップの作成
■質疑応答での参加者の声
 ・雨量予測が全く役に立っていないのでは
 ・事前放流をもっとできないのか
 ・ダムを廃止してほしい
 ・ダムの利水容量が問題では
 ・被災者支援に対する市の取り組みを
 ・操作規則や発令基準の変更、事前放流量の見直しなどがあれば説明を
 ・各種計画や規則の見直しなどには住民参加を

・水に浸からないまちにしてほしいなどの意見や質問が出されました。
 これに対し説明者からは「経験したことのない急激な豪雨で予測は困難であった」「流下能力の調査を行い、5年後には約1300t/sの流量の確保を目指す」「利水団体と協議して事前放流量の増加に努め、操作規則の見直しを行う」「ハザードマップの早期作成を目指す」「国に対する支援制度の拡充要望と市単独の支援制度の創設に取り組む」などの回答がありました。
■随時、広報などでお知らせ
 関係機関では「検証等の場」での協議結果を踏まえ、連携しつつ、それぞれの対策や取り組みを強化・推進し、市民の安全・安心の確保に努めていきます。
 今後の国、県の取り組みの状況や市の対策などについて、変更や見直しがあれば、随時、広報などを通じて地域住民の皆さんにお知らせしていきます。
 問 総務課 ☎62・6400



市消防出初式

平成 31 年西予市消防出初式を 2 月 3 日（日）に宇和運動公園で開催。
 消防団員 806 人が揃い、日頃の訓練の成果を披露しました。
 表彰者（敬称略）は以下のとおりです。問 市消防本部 ☎ 62-4700

表彰状・感謝状受賞者



■ 日本消防協会会長表彰（功績章）

副団長 廣瀬吉孝（団本部） 副団長 遠藤猛（三瓶本部）

■ 日本消防協会会長表彰（精績章）

副団長 佐藤健二（明浜本部）井上薫（三瓶本部）分団長 俵藤明（下宇和分団）新和弘（惣川分団）河野直人（魚成分団）

■ 日本消防協会会長表彰（勤続章）

副団長 大田信介（野村本部）河野通（城川本部）分団長 金丸博文（遊子川分団）副分団長 西又裕二（遊子川分団）部長 上岡雅人（魚成分団第 3 部）団員 兵頭眞喜（貝吹分団第 3 部）大塚英樹（朝日分団第 2 部）清家宣哉（三島分団第 1 部）消防司令補 徳山隆（市消防本部）山本清久（同）

■ 愛媛県知事表彰（功労章）

分団長 上甲育芳（俵津分団）稲垣国弘（狩江分団）副分団長 横山寅嗣（高山分団）上甲圭介（溪筋分団）井上貴正（中筋分団）須上真一（遊子川分団）兵頭茂樹（魚成分団）西村和明（揚分団）団員 原田香里（明浜分団第 1 部）山西雅人（宇和分団第 2 部）消防司令 榎本高明（市消防本部消防次長）

■ 愛媛県消防協会会長表彰（功績章）

分団長 川口伝司（高山分団）森岡博文（土居分団）濱野利幸（朝日分団）副分団長 木下祥広（横林分団）聖徳忠幸（土居分団）竹内寿男（谷道分団）団員 堀内哲也（田之筋分団第 2 部）

■ 愛媛県消防協会会長表彰（勤続章）

分団長 二宮雄司（二木生分団）大塚晃市（三島分団）副分団長 松岡英二（田之筋分団）西谷勲（石城分団）部長 森下孝（狩江分団第 3 部）宇都宮由美（明浜分団第 1 部）片山雅人（石城分団第 1 部）二宮寛仁（宇和分団第 4 部）三好純一（下宇和分団第 2 部）永田啓文（石城分団第 2 部）宇都宮弘志郎（宇和分団第 1 部）井上裕基（谷道分団第 1 部）班長 酒井康次（俵津分団第 1 部）西村吉仁（狩江分団第 1 部）宇都宮健（高山分団第 3 部）平田邦彦（同）大下伊智（田之浜分団第 1 部）堀石誠志（狩江分団第 2 部）藤井威将（田之浜分団第 1 部）佐々木保人（田之浜分団第 2 部）上甲光治（多田分団第 1 部）河野昌博（宇和分団第 5 部）光冲真治（中筋分団第 3 部）柴田彰大（貝吹分団第 1 部）二宮和也（貝吹分団第 2 部）川内正輝（惣川分団第 2 部）中山佑司（野村分団第 2 部）五藤文明（野村分団第 5 部）黒田豊（溪筋分団第 1 部）上杉政仁（溪筋分団第 3 部）清水幸樹（溪筋分団第 5 部）安平忍（中筋分団第 1 部）角藤展行（中筋分団第 2 部）河井隆悟（中筋分団第 4 部）宇都宮万幸（土居分団第 2 部）村上浩二（魚成分団第 1 部）小玉祐樹（魚成分団第 5 部）久留島理（二木生分団第 1 部）山本親人（二木生分団第 3 部）宇都宮健一（揚分団第 1 部）井上正直（三島分団第 2 部）団員 村上征士郎（多田分団第 1 部）岡本清一（中川分団第 2 部）菊地一敏（多田分団第 2 部）森田剛介（中川分団第 3 部）吉村直樹（宇和分団第 2 部）上甲啓一郎（田之筋分団第 3 部）兵頭雅人（下宇和分団第 1 部）三好義明（溪筋分団第 4 部）兵頭順一（中筋分団第 1 部）兵頭英司（横林分団第 1 部）武田信也（横林分団第 1 部）富永祥一（遊子川分団第 2 部）浦田邦夫（土居分団第 3 部）厚朴智加良（遊子川分団第 1 部）家森恵樹（高川分団第 1 部）小笠原洋務（魚成分団第 5 部）貝塚秀之（二木生分団第 1 部）井上文広（朝日分団第 1 部）浜田彰治（三島分団第 5 部）

■ 愛媛県消防協会会長表彰（夫婦消防団員）

原田兼章（狩江分団副分団長）原田順子（明浜分団第 1 部団員）酒井美衣子（明浜分団副分団長）酒井優二（狩江分団第 1 部団員）

■ 愛媛県消防協会会長感謝状（優良団体） 明間地区自主防災連合会

■ 愛媛県消防協会会長感謝状（内助の功労者）

佐藤美香（明浜方面隊 佐藤吉治副団長夫人）
 中山愛子（野村方面隊 惣川分団 中山藤広副分団長夫人）

図書交流館 4/27 に開館予定

図書交流館（新しい図書館中央館）では、子育て世代をはじめ幅広い年齢層に長時間快適に過ごしていただけるよう、次のような機能を設けています。

新しい図書館に設けた機能

- ・学習室
- ・サイレントルーム
- ・お話コーナー
- ・授乳室
- ・子ども室
- ・展示ホール、多目的ホール
- ・会議室など

4/27 に開館予定

図書交流館は4月27日（土）に開館予定。同日から10連休は休まず開館し、イベントやワークショップなどを計画しています。

中央館は2/28 に閉館

図書交流館への移転作業のため、現在の図書館中央館は2月28日（木）まで開館し、その後閉館となります。新しい図書館中央館（図書交流館）が開館するまでの間は、市教育保健センター1階ロビーで、以下が閲覧できます。

- ・新聞（1週間分）
- ・雑誌（貸出不可、最新刊のみ）

分館の臨時休館

蔵書点検のため、1週間臨時休館します。例年より1週間早くなっていますので、ご注意ください。

野村分館 3/1（金）～3/7（木）
三瓶分館 3/8（金）～3/14（木）

問 市民図書館 ☎ 62-6420

文化財の防災 今一度、防災マップの確認を

平成7年の阪神淡路大震災を契機に、被災した文化財の保全を進めるため、歴史資料ネットワークが設立され、その後各地で同様の組織が立ち上がりました。

愛媛県でも平成13年の芸予地震を契機に愛媛資料ネットが設立され、昨年7月の豪雨災害でも古文書の復旧などに関係者が尽力されています。昨年6月からは愛媛県と県内市町が文化財防災マニュアルの作成に関する議論を開始するなど、自治体での取り組みも始まり、文化財の分野でも防災に対する意識が高まりつつあります。

いかに災害を避けるか

さて、文化財の防災対策のひとつとしては、災害を避けることが挙げられます。災害の危険性がある場所に文化財を置かない、災害発

生時に文化財の倒壊や破損がないよう展示・収蔵をする、火事や盗難にあわないよう対策を講じるなどさまざまな方法が考えられます。

こうした対策の前提として重要なことは、自分たちの生活する場所や文化財の置かれている場所に、そもそもどのような危険が迫る可能性があるかを知ることです。西予市では防災マップを作成し全戸配布しているほか、市のホームページでも公開しています。

7月の豪雨災害では、このマップで危険性が指摘されている場所で実際に土砂崩れや土石流が発生しました。南海トラフ地震発生の確率が高まっていると指摘されています。ぜひ一度、防災マップをご覧ください。

問 スポーツ・文化課
☎ 62-6416



募集！ 愛媛県警察官

愛媛県警察官（大学卒、男性・女性）の募集が始まります。詳しくは県警ホームページをチェック。

試験案内配布
3月上旬に開始予定
申込期間
4月上旬から中旬までの予定

第一次試験日
5月中旬の予定

問 西予警察署
☎ 62-0110



四国西予
ジオの至宝

New 新認定

四国西予ジオブランド認定審査会を1月11日（金）に行い、厳正な審査の結果、四国西予ジオパークとのストーリー性や市場性、独自性を特に有した次の2品を新しく「ジオの至宝」として認定しました。これらの商品は今後さまざまなイベントや商談会のほか、ふるさと納税の返礼品として、強くPRしていきます。来年度も認定募集を行う予定です。ぜひご応募ください。

ジオの至宝
HPはコチラ

株式会社野村町地域振興センター
野村農業公園ほわいとファーム
カマンベールチーズ 森のろまん
酪農のまち野村町のカルスト台地や河成段丘でのびのびと育った牛の生乳を使い、チーズの本場フランスノルマンディ地方の伝統的製法で作ったこだわりのチーズです。

田力本願株式会社
田力米（たりきまい）
弥生時代から米作りが営まれてきた広大な宇和盆地で、肱川源流の水を使い、環境保全や地域内資源の循環を目指したみかんぼかしなどの有機肥料を用いて育てたお米です。

問い合わせ / 四国西予ジオパーク推進協議会
(まちづくり推進課 ジオパーク推進室内) 宇和町卯之町三丁目434-1
tel 62-6403

離乳食 注意が必要な食材



赤ちゃんが好き嫌いなく健やかに成長するために、月齢や消化吸収する力に応じた食材を、離乳食に取り入れていきましょう。

ハチミツ、与えないで

ハチミツを1歳未満の赤ちゃんに与えると「乳児ボツリヌス症」にかかることがあります。ボツリヌス菌は土壌などに広く存在している細菌で、大人の腸内では他の細菌との競争に負けてしまい通常何も起こりません。しかし赤ちゃんの場合、便秘が数日続いたり、全身の筋力やほ乳力が低下したりするような症状が出る場合があります。適切な治療で治癒しますが、まれに亡くなることもあります。

ボツリヌス菌は熱に強く、通常の過熱や調理では死滅しません。ハチミツや、ハチミツが入った飲料やお菓子などは与えないようにしましょう。1歳以上になれば、問題ありません。

他、離乳食に適さないもの

- ①噛みにくいもの（餅、こんにゃく、ゼリーなど）
- ②小さくて丸いもの（ナッツ、飴、ミニトマトなど）
- ③刺激の強いもの
- ④塩分、糖分、脂肪分の強いもの
- ⑤強いアレルギーを起こしやすいもの（そばなど）

注意

アレルギーを心配し、自己判断で食材を極端に避けると発育に支障をきたすことがあります。医師と相談しながら進めましょう。

問 健康づくり推進課

☎ 62-6407

西予市オレンジ支援チームと認知症サポート医

西予市では平成28年10月、認知症初期集中支援チーム（オレンジ支援チーム）を立ち上げました。

医療、福祉、行政の専門職からなるチームで、西予市医師会員の4人が認知症サポート医として参加しています。

サポート医

三瓶 樋口 敏

（樋口内科蔵貫診療所）

宇和 樋口 享（樋口脳神経外科）

明浜 安食 研治（あじき医院）

野村・城川 岡 浩（おか医院）

支援対象は？

対象者は40歳以上で、在宅で生活していて認知症が疑われる人、または認知症で適切な診断や医療・介護サービスを受けていない人、中断している人、認知症に伴う徘徊などの症状のため対応に苦慮している人

などです。

多職種連携で対応

オレンジ支援チームは多職種連携で情報収集や初回訪問、チーム会議、初期集中支援を6カ月間実施し、担当ケアマネージャーや医療機関などに引き継ぎます。

認知症サポート医は西予市医師会や地域包括センター、専門医療機関などと連携し、オレンジ支援チームの取り組みにも参加しています。

オレンジ支援チームは市民の皆さんが認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために支援します。認知症は、早期対応が重要です。まずはお相談ください。（西予市医師会 安食 研治「あじき医院」）

乾燥が続いています 火災に注意



「忘れてない？ サイフにスマホに火の確認」をスローガンに、今年も3月1日から7日までの間「春の全国火災予防運動」が実施されます。市消防署では火災予防運動の一環として、防火看板の設置や車両広報などを実施しています。

火災の原因1位は…

平成30年上半年期の出火原因第1位は「たき火」です。ついで「たばこ」「放火」の順となっています。

たき火を行う際には必ず

周囲に燃えやすいものが無いかを確認し、すぐに消火できるよう消火器や水バケツを準備しましょう。事前に消防署にも連絡をし、通報手段も確保しておきましょう。

また、林野火災は一度発生すると消火が容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失してしまいます。強風時や乾燥時に、たき火や火入れはしないようにしましょう。

問 市消防本部 ☎ 62-0119

こだわりの給食で笑顔に

市民病院に入院している人を対象に行う「嗜好調査」では、給食を残す人の4割が「食欲がない」と答えています。

管理栄養士や調理員は、毎日どうすれば残食を減らせるのか追究し、協力して給食を提供しています。その結果、長年変えていない当院のこだわりを2つ、ご紹介します。

手作りのだし汁

1つめは、朝一番に手作りしているだし汁です。北海道産昆布と、うま味調味料無添加のカツオ節を使っています。「ここのお汁の味が懐かしいわい」「薄味でも美味しいよ」と好評です。

羽釜で炊くお粥

2つめは、毎食羽釜で炊き上げるお粥です。西予市産のお米と調理員の絶妙な水加減で、ふっくらしたお粥ができあがります。咀嚼の問題や病態を考慮して、5割の人はお粥が主食です。



「地元の物を使って作ってもらいよるけん、ここのが口にあわい」と話すお粥ファンの人もおられます。

最後まで口から食べる喜びを

県内の80%が委託業者によって病院給食を提供していますが、当院は直営です。

食欲不振の患者さんに対し、個別にすぐ対応できることが直営のメリットです。多職種で連携が必要な食養療法には欠かせません。全国的な人員不足が懸念される給食運営ですが、今後も行事食（開院祝いやハロウィン、世界糖尿病 Day など）やリクエスト献立に応じて、最後まで口から食べていただけることを目指します。（主任管理栄養士 橋岡洋子）

問 西予市民病院 ☎ 62-1121



天皇陛下の退位に 便乗した商法に注意

天皇陛下の退位に便乗して「アルバムや書籍、掛け軸などの購入を電話で勧誘された」という相談が寄せられています。

相談事例

「天皇陛下退位の記念に、アルバムを買わないか」と知らない事業者から電話があり「本来8万円だが、3万8千円で買える」と言われた。最終的には断ったが、一方的に自宅にアルバムが配送され、夫が受け取ってしまった。

アドバイス

購入する意思がない場合には、早い段階ではっきりと断り、電話を切りましょう。注文していない商品が届いた場合は代金を支払わず、「受け取り拒否」をしましょう。家族間で「誰が注文したか分からない荷物は受け取らない」というルールを作っておくのも一つの方法です。

問 市消費生活センター ☎ 62-1285

第70回全国人権・同和教育研究大会②

第70回全国人権・同和教育研究大会の参加者の感想を掲載します。スペースの関係上、一部の抜粋となることをご理解ください。

参加者の感想

- ・全体会での特別報告では、自身の実体験を赤裸々に語られていました。また、被差別部落出身であることを隠すことなく、現実の問題と闘っている姿が印象に残りました。おかしいことは、おかしいと堂々と言うことが差別解消に大切だと改めて感じました
- ・今回初めて企業の障がい者雇用の話を聞くことができました。報告者の障がいのある社員に対する繊細な配慮や思いやりに驚かされました。中でも「思い込みの壁を取り払う、その先に融合がある」は印象的でした
- ・部落差別の現状を再認識することができました。実践報告や参加者の意見を聞いて、会場のテーマである「人権確立をめざすまちづくり」のために大切なことは、つながりだと感じました。取り組みを進めていく交流を、私ができるところから深めていきたいと感じました
- ・パネルディスカッションでは3名のパネリストが自分の体験や思いを本気で語り、その真剣さと熱い思い、考えを聞いてとても頼もしく思えました。同時に自分が若年教員であった頃と比べて、あまりにも違いすぎて恥ずかしく感じました。また、分科会での『差別したらあかん』そんな授業はあかん」という訴えに、深い感銘を受けました

問 生涯学習課 ☎ 62-6415

ゼロからのスタート！ 編み物を、基礎から学びませんか



「ゼロから始める編み物」をテーマに、いきいき学級を開催。ゼロからのスタートなので、経験や知識がない人も安心して参加できます。講師は上田球乃さん。

- 日時 3月19日(火) 午後1時30分～4時
- 場所 市教育保健センター4階 第1研修室
- 定員 10人(多数の場合、抽選)
- 参加費 1000円(材料費)
- 申込期限 3月11日(月)
- 問 生涯学習課 ☎ 62-6415

豚汁あり ドキドキ歩こう大会

毎年恒例、上三館(多田・中川・石城)地区のドキドキ歩こう大会。今年が多田公民館を出発し、「蛇骨堂」など多田地区の歴史を巡ります。

- 完歩後は豚汁などをふるまいます。参加費無料。雨天順延。
- 日時 3月21日(木・祝) 午後0時30分～5時
- 場所 多田公民館
- 問 多田公民館 ☎ 66-0300



Information market

仕事や生活、趣味に役立つ最新情報をお届けします。
パラパラめくって、気になるものをチェック！
自分にぴったりの掘り出し情報が、きっと見つかります。



第31回野福峠さくら祭り



外松尾公園(明浜町俵津)で開催。餅まきや特産品出店、移動動物園や〇×クイズなど。

- 日時 3月31日(日)
- オープニング(俵津文楽や餅まきなど): 午前9時30分～
- 出店(弁当、柑橘、真珠など): 午前10時～
- キッズコーナー: 午前10時30分～午後3時
- 俵津文楽公演(俵津文楽会館にて): 午後2時～3時30分
- 問 明浜支所 産業建設課 ☎ 64-1287



難病のつどい

難病制度についての情報提供のほか、パーキンソン病患者の声や、CIDP(慢性炎症性脱髄性多発神経炎)家族の思い、筋無力症友の会による講演など。入場無料。事前申し込み不要。

- 日時 3月9日(土) 午後1時～3時
- 場所 道の駅みなとオアシスうわじま きさいや広場市民ギャラリー
- 問 市立宇和島病院 地域連携室 ☎ 0895-25-1111



事業者のみなさん 「あんしんサポーター」に加盟しませんか

「西予市高齢者あんしんサポーター加盟店」を募集中。日常業務の中で、無理のない範囲で高齢者を見守ってくださいますか。万が一異変を発見した場合は、市または地域包括支援センターへ連絡をしてください。緊急時は、警察または消防へ通報してください。

- 高齢者が安心して暮らすためにも、1事業所でも多い加盟をお願いします。
- 問 長寿介護課 ☎ 62-6406



加盟を希望する場合、申請書(市HPにあるよ)を提出してねっ!



行方不明になった際 早期発見につながる制度があります

徘徊で行方不明になった際に早期発見することを目的として、その恐れのある高齢者を事前に登録する制度(徘徊高齢者等SOS登録事業)があります。情報は市が管理し、徘徊発生時には関係機関と情報共有して早期発見に努めます。詳しくはお問い合わせください。

- 問 長寿介護課 ☎ 62-6406

まけんぞ!のむら!! ノルディックウォーク大会

乙亥の里スタート。3km・5km・10kmのコースがあり、野村のまちを回って帰ってきます。春の野村を一緒に歩きませんか。ポールレンタルあり。

- 日時 3月24日(日) 午前10時～
- 場所 乙亥の里発着
- 参加費 500円
- 定員 各コース先着100人
- 申込期限 3月10日(日)
- 申込方法 のむらスポーツクラブまで
- 問 のむらスポーツクラブ ☎ 89-1214

子育てサロン スキップClub

- 3月は春パーティー。
- 日時 3月1日(金) 午前10時～11時30分
- 場所 宇和児童館「うわっこ」
- 問 宇和児童館 ☎ 62-7331



あらパークまるごと トレイルランニング2019

海を眺めながら、大自然の中を走りましょう。参加者全員に地元特産品のおもてなし昼食をふるまうほか、お楽しみ抽選会などもあります。



- 日時 4月21日(日) 午前9時～午後1時頃
- 場所 福島展望公園「あらパーク」
- コース 一般の部(4km・8km)
- 小学生の部(1km) 低学年は保護者伴走可
- 参加費 一般3000円、中学・高校生2000円、小学生無料
- 定員 各コース先着50人程度
- 申込期限 4月1日(月)
- 申込方法 申込書を記入の上、スポーツ・文化課または三瓶教育課に提出
- 問 スポーツ・文化課 ☎ 62-6416





進学や就職の際には 住民票の異動を



進学などで住民票を移さずに市外に転出した場合、転出先の市区町村だけでなく、住民票がある西予市でも投票ができなくなります。これは生活の本拠地で選挙人名簿に登録する必要があります。

進学や就職などで実家を離れる人は、住民票を移す届け出を忘れずに行ってください。

問 市選挙管理委員会事務局 ☎ 62-6400

公共下水道使用者で 井戸水を使用している人

井戸水を使用し公共下水道に排水している場合、世帯の人数などが変わったら下水道使用料も変更となります。忘れずに届け出をお願いします。

こんなときは届け出を

- ・転出や死亡などで使用人数が減った
- ・結婚や同居、出産などで使用人数が増えた
- ・水道水のみを使用していたが、井戸水を併用するようになった
- ・水道水の使用をやめ、井戸水のみ使用に切り替えた
- ・井戸水のみを使用していたが、水道水を併用するようになった
- ・井戸水の使用をやめ、水道水のみ使用に切り替えた

届出様式 上下水道課や市ホームページにあり

問 上下水道課 ☎ 62-6495



人権擁護委員が委嘱されました

西予市では現在、14人の人権擁護委員が委嘱されています。今回、5人の委員が任期満了となり、後任として5人が平成31年1月1日付けで法務大臣から委嘱されました。

今回委嘱された人権擁護委員 (任期3年)

- 《宇和地区》山本 裕之さん
- 《明浜地区》高岡 和廣さん
- 《野村地区》兵頭 美穂さん
- 《城川地区》河野 祐子さん
- 《三瓶地区》高橋 信雄さん

悩みごとや困りごとがある場合

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づき委嘱された、私たちの相談パートナーです。暮らしの中での悩みごとや困りごとがある人は、ぜひお近くの人権擁護委員にご相談ください。相談希望の人は、お問い合わせください。

問 人権対策室 ☎ 62-6492

がんばれせいよの アスリート！ アーティスト！

学校から掲載依頼があったものを掲載します。

アーティスト部門

第3回全国子ども和食王選手権
中国四国ブロック

《和食王部門》

3位：黒田春輝(中川小6)、
堂本音嵐(同)、都築隼(同5)



市ホームページに バナー広告を載せませんか

市ホームページの、トップページ下部に掲載するバナー広告を募集。

募集枠 6枠

規格 縦50ピクセル×横170ピクセル

掲載期間 1日から末日までの月単位
最長12カ月、募集は年度区切り

掲載料 1枠6000円(月額)

問 情報推進室 ☎ 62-6404

「広報せいよ」に広告を載せませんか

掲載は平成31年5月号(4/22発行)から。掲載広告は、広告主が作成してください。枠に限りあり。お早めにご相談ください。

掲載場所

①裏表紙の最下段(カラー)：縦43mm×横57mm

②表紙・裏表紙以外の最下段(カラー)：縦43mm×横84mm

掲載料 1枠2万円(月額)

掲載期間 1回単位で最長12回、募集は年度区切り

問 情報推進室 ☎ 62-6404



「広報せいよ」



市外にも毎月、広報が届く 「広報せいよ友の会」

「広報せいよ友の会」に入会すると、ふるさとの情報が満載の市広報紙「広報せいよ」が毎月届きます。対象は市外在住者。

年会費 1000円

該当号 平成31年5月号(4/22発行)～32年4月号(3/23発行)
毎月1回、全12回送付

申込方法 まずはお電話ください。振込用紙などをお送りします。

問 情報推進室 ☎ 62-6404

身近な話題や 西予市出身者の近況など募集

「広報せいよ」の中に、市民の投稿ページ「せいよクラブ」があります。西予市の風景写真はもちろん、この地を離れてがんばる大学生や西予市出身者の近況など、ぜひ話題をお寄せください。

おたより方法 メールまたはFAX、ハガキにて。エピソードとあわせて、氏名(ペンネーム可)と連絡先を明記してください。

問 情報推進室 ☎ 62-6404 FAX: 69-1622

メール: jouhou@city.seiyo.ehime.jp

〒797-8501 宇和町卯之町三丁目434-1

自衛隊幹部候補生、 予備自衛官補を募集

自衛隊幹部候補生(一般、歯科・薬剤科)と予備自衛官補(一般、技能)を募集。

受付期間や試験日など、詳しくはホームページでご確認ください。

問 愛媛地方協力本部 大洲地域事務所 ☎ 0893-24-4123





3 / 23 土

場所

南予文化会館
(宇和島市)

午前の部

午前 10 時～正午

午後の部

午後 1 時～5 時

参加を希望
する人は
コチラ

「事前復興フォーラム参加申込み」と明記の上、氏名、連絡先（電話番号）居住地、職業を添えて、メールまたは FAX で申し込みください。

申込期限 3月18日（月）

申込先 E-mail : kensien@stu.ehime-u.ac.jp

FAX : 089-927-9021

問 愛媛大学 宇和海沿岸地域事前復興デザイン研究センター

☎ 0894-35-6851

防災情報研究センター ☎ 089-927-9021

注意事項

当日も受付しますが、満席で入場できない場合はご了承ください。

詳しくは市または愛媛大学宇和海沿岸地域事前復興デザイン研究センターのホームページをご覧ください。



【報告講演】
「西予市の復興プロセス」
(愛媛大学教授 松村暢彦)
【パネルディスカッション】
「宇和海沿岸地域のトップリーダーと事前復興を考える」
コーディネーター(愛媛大学防災情報研究センター特命教授 矢田部龍一)
パネリスト(宇和島市長、八幡浜市長、西予市長、伊方町長、愛南町長、東京大学、愛媛大学)

【基調講演】
「南海トラフ事前復興に向けた課題と展開」
(東京大学教授 羽藤英二)

【第2部】7月豪雨災害を教訓に南海トラフ地震の事前復興を考える
【第1部】宇和海沿岸地域南海トラフ地震事前復興デザイン共同研究報告
【午後の部】南海トラフ地震事前復興フォーラム
【午前の部】学生が考える宇和海沿岸地域の小さな事前復興プラン(東京大学、愛媛大学院生の提案報告)

■無料駐車場 150台(詳細は問い合わせ)
■プログラム
■定員 500人(参加無料)
■日時 3月23日(土) 受付:午前9時30分
《午前の部》午前10時～正午
《午後の部》午後1時～5時

■主催
愛媛県、宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町、愛媛大学防災情報研究センター、東京大学復興デザイン研究体
■場所 宇和島市立南予文化会館中ホール
(宇和島市中央町2丁目5番1号)

南海トラフ地震事前復興共同研究

事前復興 フォーラム



7月豪雨災害を教訓に、南海トラフ地震の事前復興を考える

平成30年7月豪雨は、県内に極めて甚大な被害をもたらしました。一方で、今回の災害をはるかに超える被害が想定される「南海トラフ地震」の発生が、数十年後に迫っているといわれています。では、もし南海トラフ地震が発生した場合私たちはどのように復興へと向けて進んでいけばよいのでしょうか。被災後の生活再建や、市街地復興などをあらかじめ想定しておく「事前復興」について市民や行政、大学が一体となって学ぶフォーラムが開催されます。問 危機管理課 ☎ 62-6491

就職や退職、修学を迎える皆さん 国保の手続きをお忘れなく

就職や退職、修学に伴い、国民健康保険の手続きも必要です。保険の取得や喪失の手続きは、14日以内をお願いします。

就職したとき・扶養になったとき

会社の健康保険に加入したり、家族の扶養になったりしたときは、国保の資格を喪失する手続きが必要です。

持参物

- ・国民健康保険の保険証
- ・新しくできた保険証
- ・印鑑
- ・個人番号カードまたは通知カード
- ・身分証明書（運転免許証など）

退職したとき・扶養でなくなったとき

次のいずれかの手続きが必要です。

- ①国民健康保険に加入する
- ②健康保険に加入している家族の扶養になる
- ③健康保険を任意継続する

①については「健康保険資格喪失証明書」を会社で発行してもらい、印鑑、個人番号カードまたは通知カード、身分証明書（運転免許証など）を持参してください。

修学のため市外に転出するとき

転出した後も西予市の国民健康保険を使用できます。手続きには在学証明書などが必要なため、転出手続きの際にご相談ください。

問 市民課 ☎ 62-6405

相談



中皮腫や肺がんなど 石綿による疾病の補償・救済

中皮腫や肺がんなどを発症し、それが労働者として石綿ばく露作業に従事していたことが原因であると認められた場合には、労災保険に基づく各種の労災保険給付や石綿救済法に基づく特別遺族給付金が支給されます。

石綿による疾病は、石綿を吸ってから非常に長い年月を経て発症することが大きな特徴です。

中皮腫などで亡くなった人が過去に石綿業務に従事していた場合には、労災保険給付などの支給対象となる可能性があります。まずはお気軽にご相談ください。

問 愛媛労働局 労災補償課 ☎ 089-935-5206

24時間いつでも 年金情報を確認



「ねんきんネット」は、インターネットを通じて自分の年金の情報を手軽に確認できるサービスです。

24時間いつでもどこでも、パソコンやスマートフォンから年金情報を確認することができます。

「ねんきんネット」でできること

利用するには、ねんきんネットへの登録が必要です。

- ・年金記録の確認
- ・将来の年金見込額の確認
- ・電子版「ねんきん定期便」の閲覧
- ・日本年金機構から郵送された各種通知書の確認

問 ねんきん定期便・ねんきんネット専用ダイヤル ☎ 0570-058-555

「いいやん！西予」 3月の放送予定



西予CATVきらりチャンネルで「いいやん！西予」西予市行政情報番組を、毎日放送しています。行政情報を分かりやすく紹介。事業や各種補助金、イベントの紹介など、旬でお得な情報が盛りだくさんです。

3月のメインコーナー（予定）

【3/1～14まで】

- ・家庭での地震対策
- ・地域公共交通

【3/15～31まで】

- ・放課後子ども教室事業
- ・議会の仕組み

放送時間（予定）

番組内容は毎月1日と15日に更新予定です。

	月	火	水	木	金	土	日
午前6時～	■		■		■		■
午後0時15分～	■			■		■	
午後4時45分～						■	
午後6時45分～					■		
午後9時15分～					■		
午後9時45分～		■					
午後10時30分～						■	
午後11時～							■
午前0時30分～	■	■					

問 情報推進室 ☎ 62-6404

夜間・休日の救急診療

【二次救急】

中症～重症患者の受け入れをする医療機関です。検査・入院・手術が必要な場合に備え医師と外来看護師が当直し、検査・放射線技師が待機して救急医療にあたっています。変更となる場合があるため医療機関へ確認の上、お出かけください。

3月	奇数日が野村病院
	偶数日が西予市民病院

西予市民病院 ☎ 62-1121
市立野村病院 ☎ 72-0180

【一次救急】

入院や手術の必要がない軽症患者の治療にあたります。

〈宇和・明浜地区〉

3月3日(日) 高千穂医院 (上松葉) ☎62-5009

3月10日(日) 二宮医院 (卯之町二) ☎62-0144

3月17日(日) 矢野整形外科 (卯之町三) ☎62-6698

3月21日(木) 近藤医院 (卯之町一) ☎62-2311

3月24日(日) 宇都宮内科クリニック (卯之町三) ☎62-7788

3月31日(日) 土居内科 (上松葉) ☎69-1285

〈野村・城川地区〉

3月3日(日) おか医院 (野村町阿下) ☎72-3456

3月10日(日) 宇都宮内科 (野村町野村) ☎72-3333

3月17日(日) 野村病院 (野村町野村) ☎72-0180

3月21日(木) ※24日は二次救急でないため検査不可

3月24日(日) いため検査不可

3月31日(日) いため検査不可

〈三瓶地区〉

3月3日(日) 八幡浜一次救急休日・夜間診療所 (八幡浜大平)

3月17日(日) ☎0894(24)1199

3月21日(木) ☎0894(24)1199

3月24日(日) ☎0894(24)1199

3月31日(日) ☎0894(24)1199

〈小児科〉

3月3日(日) 守口小児科 (八幡浜市産業通) ☎0894(24)7770

3月10日(日) 大洲ななほクリニック (大洲市東若宮) ☎0893(25)7710

3月17日(日) 山下小児科 (宇和町伊賀上) ☎0894(62)6801

3月21日(木) ごとう小児科 (大洲市西大洲) ☎0893(23)0510

3月24日(日) 八幡浜一次救急休日・夜間診療所 (八幡浜市大平) ☎0894(24)1199

3月31日(日) ごう小児科 (大洲市西大洲) ☎0893(24)3936

外科治療は対応困難なため、けがなどの場合は外科系当番医か救急病院をご利用ください。受診の際は、お薬手帳を持参してください。

広報文芸

◆漢詩◆

東宇和吟社

坂本龍馬

外患内憂相接して来る

臥龍忽ち起る土州の隈

何ぞ凶らん一夜兇刃に斃るるも

方に識る維新魁を作す在り

三好 松潮

◆短歌◆

三瓶短歌会

生きてゆく力爆発せんとして地球の

息吹に波長を合わす

十五経夫の盆に正月を供えてあげて

も労いなくて

お部屋から眺める空は正方形丸くす

るのは私のこころ

藤原 市子

◆俳句◆

田之浜俳句会

急ぎ出る夫に手渡す冬帽子

塩風呂へ久方振りに冬ぬくし

梅白し来る鳥に揺れ立つ鳥に

たわらこ俳句会

やわらかき陽に客待ちつ布団干す

虫の音や愛しき人の影あらん

珠はぎの活気をおびて冬ぬくし

宇和はこの木句会

ふくらみし豆に水たす小正月

上空に風の道あり風泳ぐ

主な庭皓々と寒の月

炬燵居て姉妹遠しと思ひいる

山田よもぎ句会

葉牡丹の三本仕立て娘ら迎ふ

宇和平野雪をまといて尚静か

いずみ句会

水仙や群生の白かがやける

一枚の賀状のえにし二十年

松の内一人となりし夕支度

伊勢本 和

平家三俊子

隅田千栄美

山本 文枝

子育て相談

子育てに不安を感じる保護者の相談に、せいよ家庭教育・子育て応援グループ員が応じます。相談日以外でも可。

日時 3月7日(木) 14日(木) 28日(木)
午後1時30分～3時30分

場所 宇和文化会館裏 大駐車場内事務所
相談電話 ☎ 69-1023 (相談日のみ)
問 生涯学習課 ☎ 62-6415

子どもに関する定期巡回相談

子どもの性格や行動などで悩んでいませんか。南予子ども・女性支援センターの児童福祉司と児童心理司が相談に応じます。

日時 3月19日(火) 午前10時～午後3時
場所 市役所1階相談室

問 福祉課 ☎ 62-6428

心の悩み相談 予約制

さまざまな心の悩みと不安に、精神科の医師や保健師が応じます。

日 3月6日(水) 午後2時～3時30分
場 市教育保健センター

問 健康づくり推進課 ☎ 62-6407

ご縁をサポートします

結婚推進員が素敵なお縁をサポートする結婚相談。本人はもちろん、家族からの相談も可。予約不要。

教育保健センター
3月5日(火) 午後4時～7時

野村公民館
3月25日(月) 午後3時～5時

三瓶文化会館
3月15日(金) 午後1時～3時

問 生涯学習課 ☎ 62-6415

市民のうごき (1月末)	人口	3万7983人(-36)	カッコ内は前月比
		男 1万7969人(-24)	
		女 2万14人(-12)	
	世帯数	1万7989世帯(-7)	
	出生	18人(±0)	
		男 9人(±0) 女 9人(±0)	
	死亡	80人(+14)	
		男43人(+5) 女37人(+9)	

差別やいじめに悩んだら「人権相談」

差別やいじめ、変なうわさを立てられた場合などに利用できる人権相談。予約不要。

西予市役所
3月7日(木) 午前9時30分～正午
問 人権対策室 ☎ 62-6492

【社協主催】心配ごと相談

日常生活での悩みや困りごとを相談できます。予約不要。

狩江公民館
3月13日(水) 午後1時～午後3時

市社会福祉協議会 宇和支所
3月12日(火) 午後1時～3時

3月26日(火) 午後1時～3時
野村保健福祉センター

3月12日(火) 午後1時～3時
総合センターしろかわ

3月15日(金) 午前9時30分～11時30分
市社会福祉協議会 三瓶支所

3月18日(月) 午後1時～3時
問 市社会福祉協議会 本所 ☎ 72-2306

【社協主催】法律相談 予約制

日常生活で法律にかかわる問題に、弁護士が対応します。

総合センターしろかわ
3月15日(金)

午前9時30分～正午
予 市社会福祉協議会

城川支所 ☎ 82-1266
市社会福祉協議会 三瓶支所

3月18日(月) 午後1時～3時30分
予 市社会福祉協議会 三瓶支所 ☎ 33-3046

【社協主催】登記相談 予約制

土地の相続や贈与などの相談に、司法書士が対応します。

市社会福祉協議会 宇和支所
3月22日(金) 午後1時～3時
予 市社会福祉協議会 宇和支所 ☎ 62-2000

行政に意見や要望があれば「行政相談」

行政全般に関する苦情や意見、要望などを相談できる行政相談です。予約不要。

高山公民館
3月5日(火)

午前9時30分～正午
市役所1階 相談室

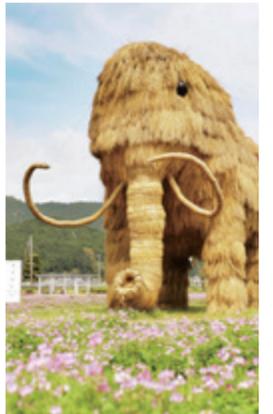
3月6日(水)
午前9時30分～正午

野村公民館
3月4日(月) 午前9時～11時

総合センターしろかわ
3月15日(金) 午前9時30分～11時30分

三瓶支所
3月19日(火) 午後1時～3時

問 総務課 ☎ 62-6400



暮らしのことなど生活に困ったら相談を

暮らしや就労、子育て、介護、障がいなどの悩みに応じる福祉相談。1人1人の状況に対応します。予約不要。

明間公民館
3月13日(水) 午前10時～正午

問 市福祉総合相談センター ☎ 62-1150

【社協主催】介護・福祉・認知症相談

ホームヘルパーやデイサービス、福祉用具利用について相談できます。予約不要。

狩江公民館
3月13日(水) 午後1時～3時

市社会福祉協議会 宇和支所
3月4日(月) 午後1時～3時

野村保健福祉センター
3月13日(水) 午後1時～3時

総合センターしろかわ
3月15日(金) 午前9時30分～11時30分

市社会福祉協議会 三瓶支所
3月18日(月) 午後1時～3時

問 市社会福祉協議会 本所 ☎ 72-2306

復興への一歩

平成30年7月豪雨で被害を受けながらも顔を上げ、必死に歩み続ける人がいます。

いつもどおり 4月に田植えを するために

あの日。土砂や流木で水路が詰まって、そこからあふれた水で、わが家の倉庫は30cmほど浸かりました。倉庫から土砂をかきだして、片付けをして…。田んぼを見にこられたのは1週間後。今までにない光景に「これほどひどいとは…」と言葉を失いました。

というのも近くの川が氾濫して、田んぼは一面、土砂や木の枝でびっしり。40cmくらいの高さまで育っていた稲も埋まりました。2町5反あるうち、被害の大小はあれども、半分以上が被災しました。

田んぼの復旧は、補助でやれんこともない。けれど、待ちよつたらいつになるか分からないので、家にある重機に自分で乗って、やっています。今は田んぼを掘り起こして、^{ふつ}肥土と石を分けよります。

被災した全部の場所を自分で直すのは、こたわんかかもしれません。でも雨が降らん日は外に出て、作業をしよります。目標は4月までに田んぼを直すこと。胸にあるのは「いつものように、田植えを迎えたい」という思いです。



兵頭 一雄さん
= 城川町田穂 =
50年以上にわたって農業
兼林業に従事。70歳。

有料広告

四国電力株式会社
shiwase no chikara になリたい。
H29年4月から

- 新料金プラン「おトクeプラン」
- 新割引「ありがとう割引」
- 料金運動ポイントを始めました!

くわしくは **よんでんホームページ**
<http://www.yonden.co.jp>
または **0120-459-311** まで
(月~土 9:00~17:00 祝日除く)

四国電力(株) 八幡浜営業所
八幡浜市川通1460-125
0120-172-778 (月~金 9:00~17:00 祝日除く)

人生のリスタートをサポートします!
村上勝也法律事務所
弁護士 村上勝也(愛媛弁護士会所属)
借金・夫婦・男女問題、交通事故、相続、成年後見などご相談ください。

**平成30年7月豪雨の
無料法律相談も行っています!**
お困りの方、是非ご相談ください。
まずはお電話下さい。
0893-57-6266
大洲市中村231愛媛舗道ビル2階 <http://www.murakami-law.net>

西予CATV キャンペーン 終了迫る!!

**創業10周年キャンペーン!!
テレビ加入金無料**

2019年3月末 まで
お問い合わせ先
西予CATV株式会社 TEL 0894-62-7811

広告募集中

問 情報推進室
☎ 0894-62-6404

広告募集中

問 情報推進室
☎ 0894-62-6404

編集後記

「うちの地区は、特に60代以上が元気なんよ」「自分らの手で地域を盛り上げようという気概あふれる人が多いよ」「ちなみに皆、お酒が好きでこれまた強いんよ」「とにかく若い人らより元気で」。聞いていたとおり、田之筋地区の皆さんは本当にお元気。特に60代以上のお父さんお母さんの若いこと。実年齢マイナス30歳といってもいいくらい。そして皆、とびきり優しく温かかったです。「このまちで暮らしたらこういう大人になれるんや」「なれるんなら、年を重ねるのも怖くないなあ」。素敵な先輩を身近に感じられる、幸せな取材でした。(堀)